

審議会等名	令和 7 年度第 1 回つくばみらい市健康づくり推進協議会
開 催 日	令和 7 年 7 月 3 0 日（水曜日）
開 催 場 所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎 2 階 会議室 1、2
出 欠 者	出席委員 小田川会長、海山委員、大岩委員、本多委員、岩井委員、飯島委員 欠席委員 町田委員、青木委員、小林委員、飯塚委員 事 務 局 石井課長、小菅課長補佐、反町係長、堤精神保健福祉士、倉持管理栄養士、木野内係長、宮内（地域計画）
議 題	・「第 2 次健康つくばみらい 21 プラン」に係る実態調査の結果について ・「第 2 次健康つくばみらい 21 プラン」に係る骨子案について ・その他
議 事 概 要	・開会 午後 2 時 0 0 分 ・委嘱状（任命書）交付 ・会長あいさつ ・事務局紹介 ・協議事項 （１）「第 2 次健康つくばみらい 21 プラン」に係る実態調査の結果について （質疑なし） ●承認 （２）「第 2 次健康つくばみらい 21 プラン」に係る骨子案について ○委 員 食生活改善推進員は、市内の幼稚園でカレー作りの手伝いや食育の講話を実施し、幼稚園からも好評を得ている。幼少期から望ましい食習慣を身につけることやバランスの良い食事を取ることの重要性を伝えている。今回の骨子案もそれと通じるものがあり良いと思う。 ○議 長 学校や保育機関等へこのアンケート結果は伝わっている

		のか。
	○事務局	市内の学校へ直接伝えていないが、学校給食センターや、各部署に配属されている栄養士に共有して、今後どのような対応をするのかを協議しながら進めている。
	○議 長	食育の話が多くご意見として寄せられている。教育委員会など学校の現場で、こうしたアンケート結果を見ていないかもしれないし、教育委員会では食育をここまで真剣に考えていないかもしれない。教育の現場でどのように反映させるか、どういう事業へ展開していくか話をしないと、食育という場面が作れないのではと思うがどうか。
	○事務局	学校の現場と直接やり取りをして食育を進めることはこれまでやってきていない。このアンケートからたくさんの貴重なご意見をいただいているので、これをもとに今回の計画とも併せて、こちらからも働きかけを行っていききたい。
	○議 長	子どもたちの前で先生が食育の話をして、子どもたちが料理を作るわけではない。提供する側、親などにすべきことかと思うので、そういう取組が必要と感じた。
	○委 員	学校保健委員会のときに給食センターの方が来て食育の話をされて、とてもためになると感じた。講師の先生を呼んで話をすることはよいことだと思う。 もう一点、ゲートキーパーについて、講習会、研修会を受けるとしたら、どのくらいの頻度で行われているのか。また何か資格が必要か。
	○事務局	ゲートキーパーの研修会について、市民向けとして毎年1～2回の頻度で開催をしている。資格は必要なくどなたでもご参加いただける。 その他、関係団体等に出前講座も行っている。
	○委 員	講師は精神科等の医師がやられるのか。
	○事務局	例年、精神科の医師に依頼していたが、今年度から市の専門職で実施する。
		(3) その他について
	○議 長	自殺予防について、今自殺が低年齢化しているが、学校等に対する自殺予防方法などはあるか。
	○事務局	教育委員会の方で定期的な悩み等のアンケート調査、学

	校等では、タブレットを活用したオンライン窓口を設けていると聞いている。 ○議 長 健康増進課は、学校のそのような問題に対して関わっているのか。 ○事務局 対応が必要な時に、関係機関と連携して対応している。 ○議 長 不登校の子どもたちは、孤独になって自殺してしまうケースが見受けられる。学校の先生は自殺の専門家ではないので、保健師などが家庭訪問時に同行するなど、連携を増やしたらどうか。 ○委 員 別の協議会にも参加しているが、学校は児童相談所や警察など様々な関係機関と連携は取れていると感じた。 ○議 長 健康増進課はそこに関わっていないのか。 ○事務局 健康増進課でも要対協との関わりや、それ以外の支援が必要な場合もあるので、家族支援も含めて連携して対応している。 ○議 長 今後も連携できるようにお願いしたい。 6 閉会 午後 3 時 1 0 分
そ の 他	傍聴者 0 名